

令和 4 年度

# 「ごみ」ってなんだろう？

－美しい街にするために

ごみについて考えよう－



大垣市クリーンセンター

あなたの手  
ごみを減らす手  
きれいな手



この冊子は、小学生を対象に編集しています。

## はじめに

毎日のくらしの中から、たくさんの「ごみ」が出ます。なかには、まだ使える物もあります。

さて、「ごみ」がふえ続けたらいったいどうなるでしょう？

「ごみ」は、なぜ出るのでしょうか？

「ごみ」をへらすには、どうしたらよいのでしょうか？

このことをみなさんにも考えてもらいたくて、この「しおり」を作りました。

この「しおり」を手がかりに、友だちや先生、おうちの人と、調べたり、話し合ったりしてください。



# もくじ

## 1. 私たちのくらしとごみ

- (1) 身のまわりのごみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) どんなごみがあるか調べてみよう・・・・・・・・・・・・ 2
- (3) 1年間にどれだけのごみが出るのだろう・・・・・・・・ 3
- (4) 1日にどんなごみがどれくらい出るのだろう・・・・ 4
- (5) 2つのグラフをくらべてみよう・・・・・・・・・・・・ 5

## 2. ごみのゆくえ

- (1) ごみを集める日と、ごみの分け方・・・・・・・・・・・・ 7
- (2) ごみを集める場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (3) ごみを集める車・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (4) ごみステーションから<sup>しよりしせつ</sup>処理施設へ・・・・・・・・・・・・ 10
- (5) クリーンセンターのしくみ・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- (6) リサイクルセンターのしくみ・・・・・・・・・・・・ 14
- (7) もやした後にはのこるもの・・・・・・・・・・・・ 16

## 3. ごみを処理するには、どれくらいお金がかかるのだろう

- (1) ごみを処理するために使うお金・・・・・・・・・・・・ 17
- (2) 1人分のごみ、1軒分<sup>けん</sup>のごみを処理するお金・・・・・・・・ 17

クリーンセンター・リサイクルセンター聞きとりカード・・・・ 18

#### 4. ごみをへらそう

- (1) ごみをへらすためにできること . . . . . 19
- (2) ごみをへらすキーワードは「4R」 . . . . . 20

#### 5. みんなのまちをきれいにしよう

- (1) ごみを出すときの約束 . . . . . 22
- (2) 大垣市を日本一美しいまちにするために . . . . . 24
- (3) まとめ . . . . . 25

#### 6. 大垣市のごみ処理のあゆみ . . . . . 26



# 1. 私たちのくらしとごみ

## (1) みのまわりのごみ

私たちは、毎日いろいろな物を使ってくらしています。

そして、使われなくなったものが、ごみとして捨<sup>す</sup>てられます。

みなさんのまわりには、どんなごみがありますか？

### 食べもの

- 野菜くず
- 残り物
- 果物の皮

### つつむもの

- 紙ぶくろ
- ほうそう紙
- ビニールぶくろ

### いれもの

- 紙や木の箱
- カンやビン
- ペットボトル

### きもの・はきもの

- 服
- くつ・スリッパ
- はぎれ

### 読むもの

- 新聞紙
- ざっし  
雑誌・まんが
- 本
- チラシ

### そのほか

- おもちゃ
- 家具
- 電気器具

いろいろな物がごみとして出されています。

この分け方は、「物の使いみち」に目をつけた分け方です。

それでは、私たちの住んでいる大垣市では、ごみをどのように分けているのでしょうか。

(2) どんなごみがあるか調べてみよう

① 家から出るごみを調べ、下の表にまとめましょう。

家のごみ調べ		調べた日	月 日 ( )
ごみの種類など	出るところ	おもに出す人	家の人に聞いたこと
例/やさいくず	だいどころ	おかあさん	
			わかったこと

② 教室のごみを調べてみましょう。

- 新聞紙を広げて、ごみばこをひっくりかえしてみましよう。
- 出てきたものを表にして、どんなものが捨てられていたか調べてみましょう。
- わかったことや思ったことを、みんなで話しましょう。



(3) 1年間にどれだけのごみが出るのだろう

こたえ **50,186.0 トン** (令和3年度)

※みなさんの学校にあるプールの約730杯分<sup>ばい</sup>になります。

(計算式)

① プール1杯分の容量<sup>ようりょう</sup>

長さ25m×はば11m×ふかさ1m=275 m<sup>3</sup>

② ごみ1 m<sup>3</sup>の重さ

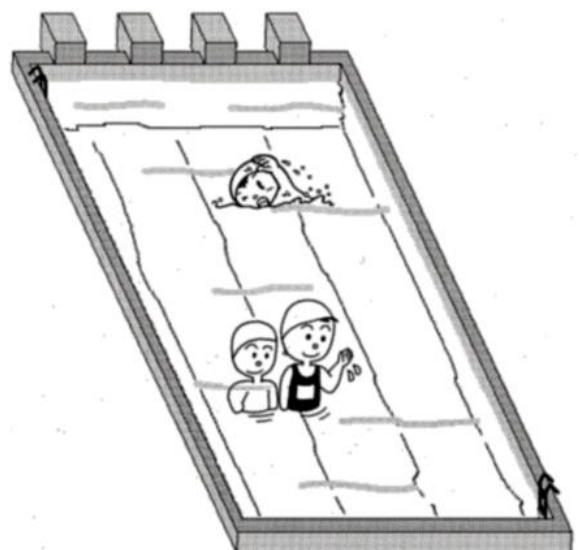
0.25 トン

③ プール1杯分のごみの重さ

0.25 トン×275 m<sup>3</sup>=68.75 トン

④ ごみ50,186.0 トン分のプールの数

50,186.0 トン÷68.75 トン≒730.0 杯



(4) 1日にどんなごみがどれくらい出るのだろう

<p><b>もえるごみ</b></p> <p>123.4 トン</p> <p><small>しゅうしゅうしゃ</small> 収集車 61.7 台分</p>	
<p><b>もえないごみ</b></p> <p>8.8 トン</p> <p>収集車 4.4 台分</p>	
<p><small>しげん</small> <b>資源ごみ</b></p> <p>5.3 トン</p> <p>収集車 2.6 台分</p>	
<p><small>かいしゅう</small> <b>資源回収</b></p> <p>5.7 トン</p> <p>収集車 2.9 台分</p>	
<p><b>がれき類</b></p> <p>4.0 トン</p> <p>収集車 2.0 台分</p>	

※1年間は、365日としています。

※「もえないごみ」に有害ごみと大型ごみをふくみます。

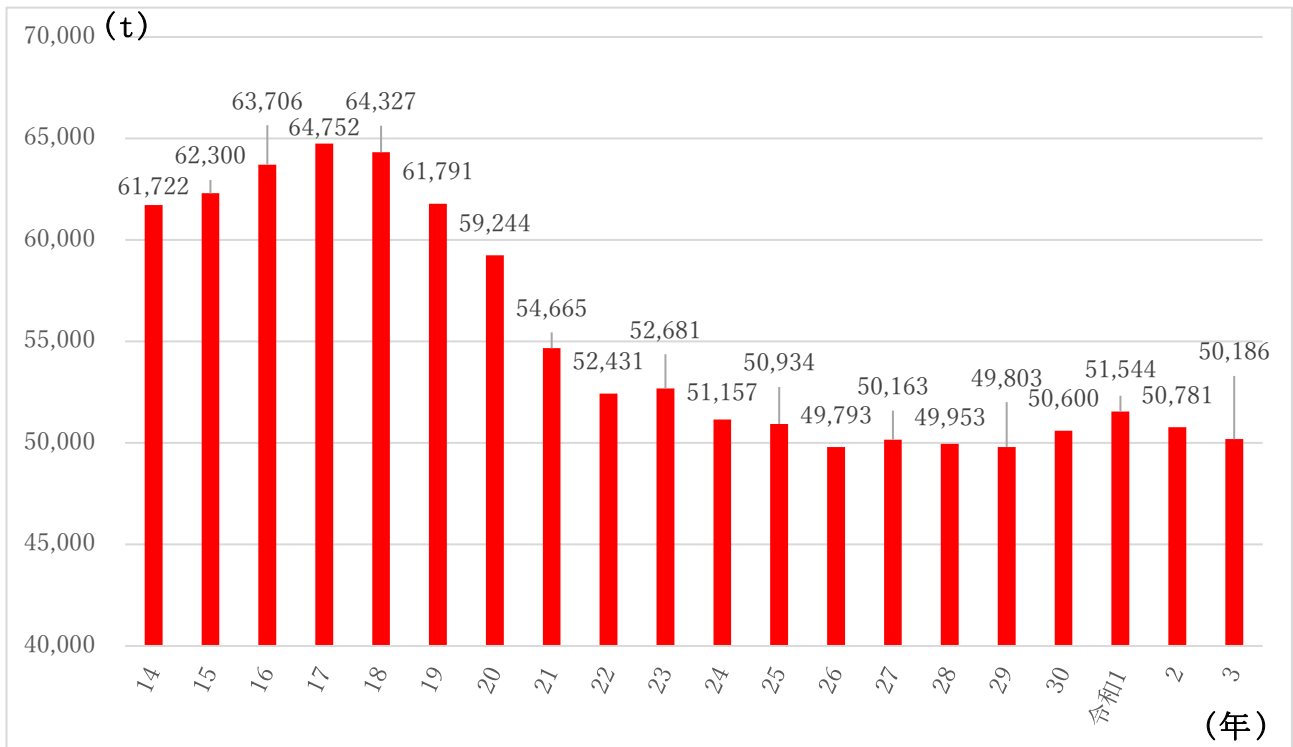
※「資源ごみ」はビン、缶、ペットボトル、プラスチック容器です。

※「資源回収」はダンボール、新聞、雑誌・雑がみ、紙パック、アルミカン、ぬのるい布類です。

※ごみ収集車は、1台あたり2トンtのごみを運べるとしています。

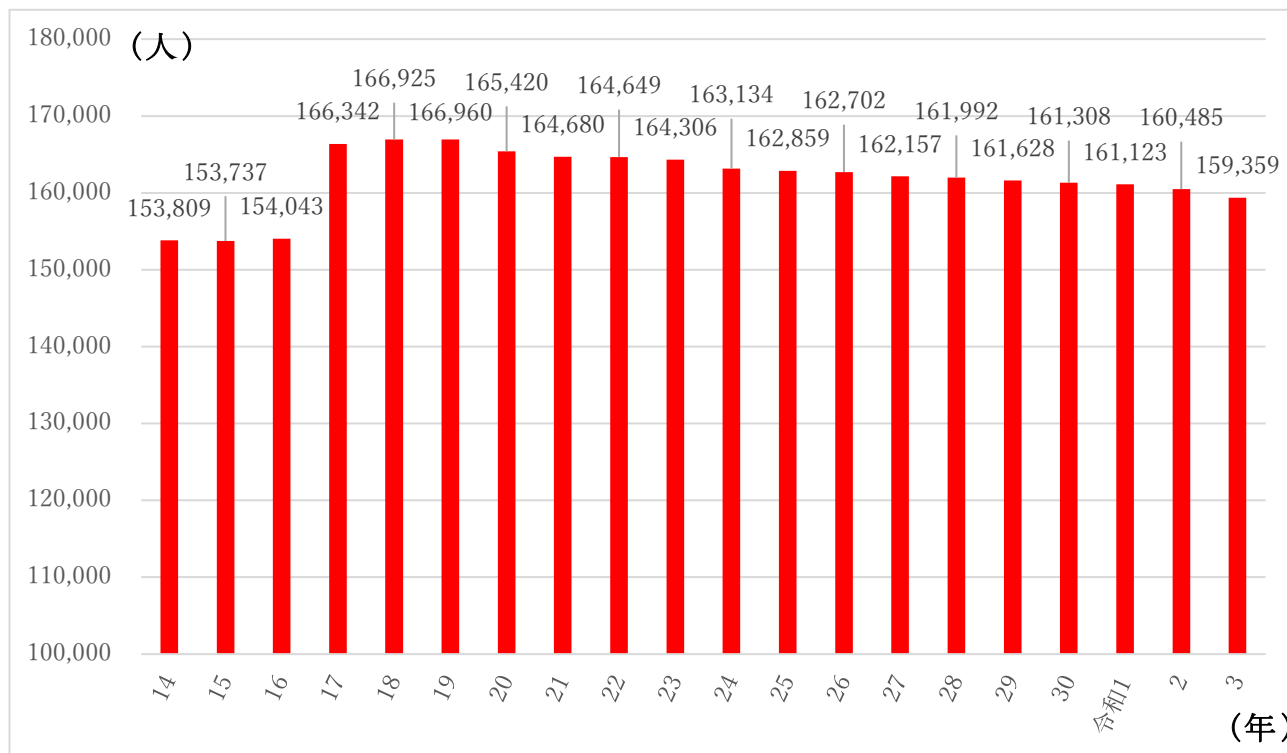
(5) 2つのグラフをくらべてみよう

① ごみ量のうつりかわり



※グラフの数値は、前のページの表から資源回収とがれき類を、のぞいています。

## ② 大垣市の人口のうつりかわり



平成 17 年度（平成 18 年 3 月）に、大垣市と  
 上石津町とすのまた墨俣町ががっぺいしました。

## 2. ごみのゆくえ

### (1) ごみを集める日と、ごみの分け方

ごみは、物や大きさ、処理の仕方などによって、5つに分け、それぞれに集める日にちを決めています。

これを分別収集（ぶんべつしゅうしゅう）といいます。

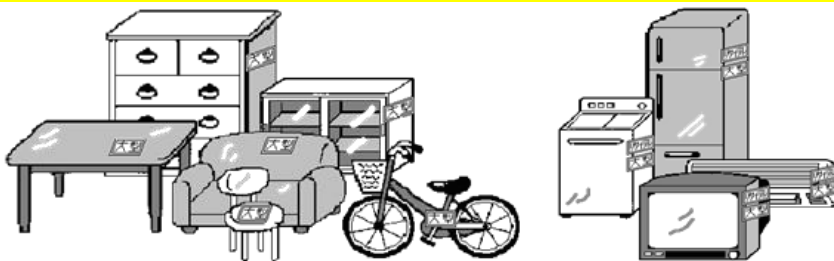
**もえるごみ（毎週2回）** ……30cm以内のものです。



**もえないごみ（毎月1回）**



**大型ごみ（予約をして取りにきてもらう）**



**有害ごみ**

（毎月1回）



**資源ごみ（ビン・カン・ペットボトルは毎月1回、プラスチックようきは毎月2回）**

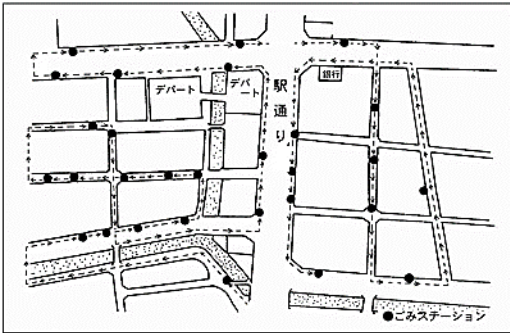


## (2) ごみを集める場所

ごみを集める場所を**ごみステーション**といいます。

大垣市には、ごみステーションが**約 4,000 か所**あります。

ごみステーションの場所は、ちいきの人たちとクリーンセンターが相談して決めます。

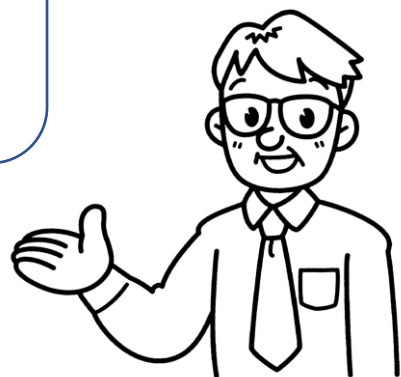


ごみステーションの中には、ごみを集める日だけ、道路や水路を利用して

また、ごみを集めたあとは、収集車から水をまいて、きれいにしています。



きれいなごみステーションにするために、協力している人たちが、たくさんいます。ごみは、ルールを守って出しましょう。



### (3) ごみを集める車

ごみを集める車のことを収集車（しゅうしゅうしゃ）といいます。収集車は、ごみステーションを順番にまわって、ごみを集めます。

プレスパッカー車



プレスパッカー車



2tトラック



クレーンつき5tトラック



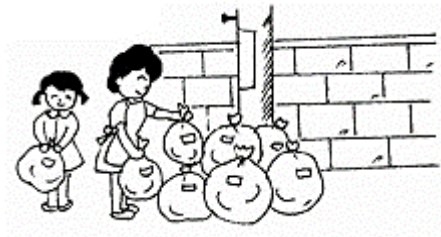
軽トラック



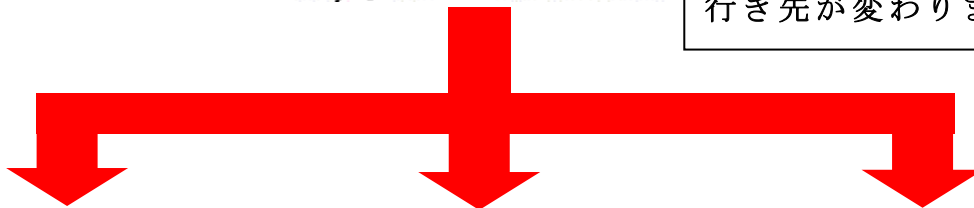
パワーリフトつき軽トラック



(4) ごみステーションから<sup>しよりしせつ</sup>処理施設へ

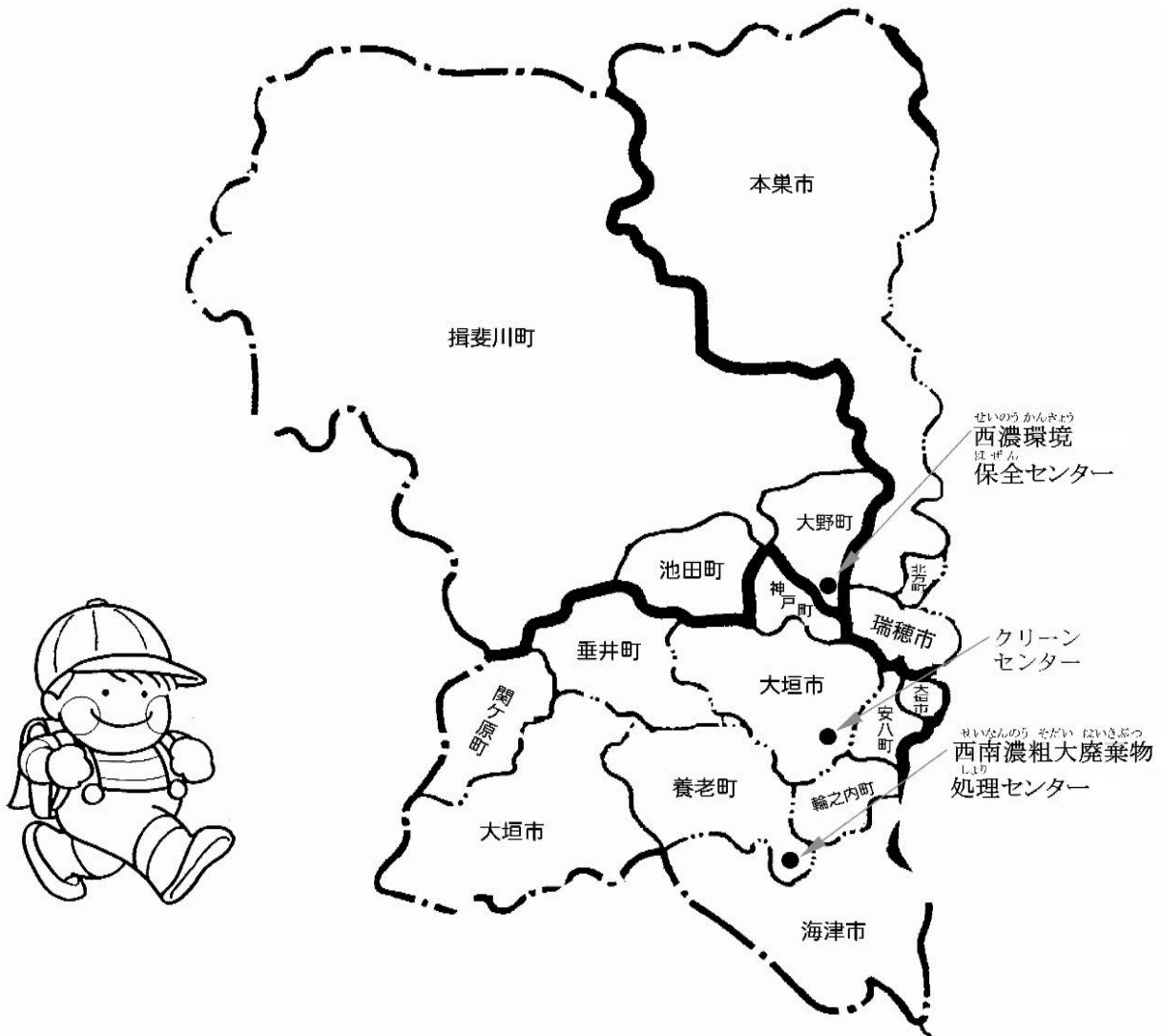


ごみの種類ごとに  
行き先が変わります。



もえるごみ	もえないごみ・大型ごみ	資源ごみ
<p>大垣市クリーンセンターまたは西濃環境保全センターへ運び、燃やします。</p> <p>燃やした後の灰も、なるべく資源として利用しています。</p>	<p><sup>せいなんのうそだいはいきぶつしより</sup>西南濃粗大廃棄物処理センターへ運び、細かくできます。</p> <p>いただいたあとに、もえるごみはクリーンセンターへ、その他のごみは、<sup>しげんかしせつ</sup>資源化施設やうめ立て地に運びます。</p>	<p>プラスチックようきは 大垣市リサイクルセンターへ、ビン・カン・ペットボトルなどはそれぞれの資源化施設へ運びます。</p>





せいのうかんきょうほぜん  
西濃環境保全センターは、

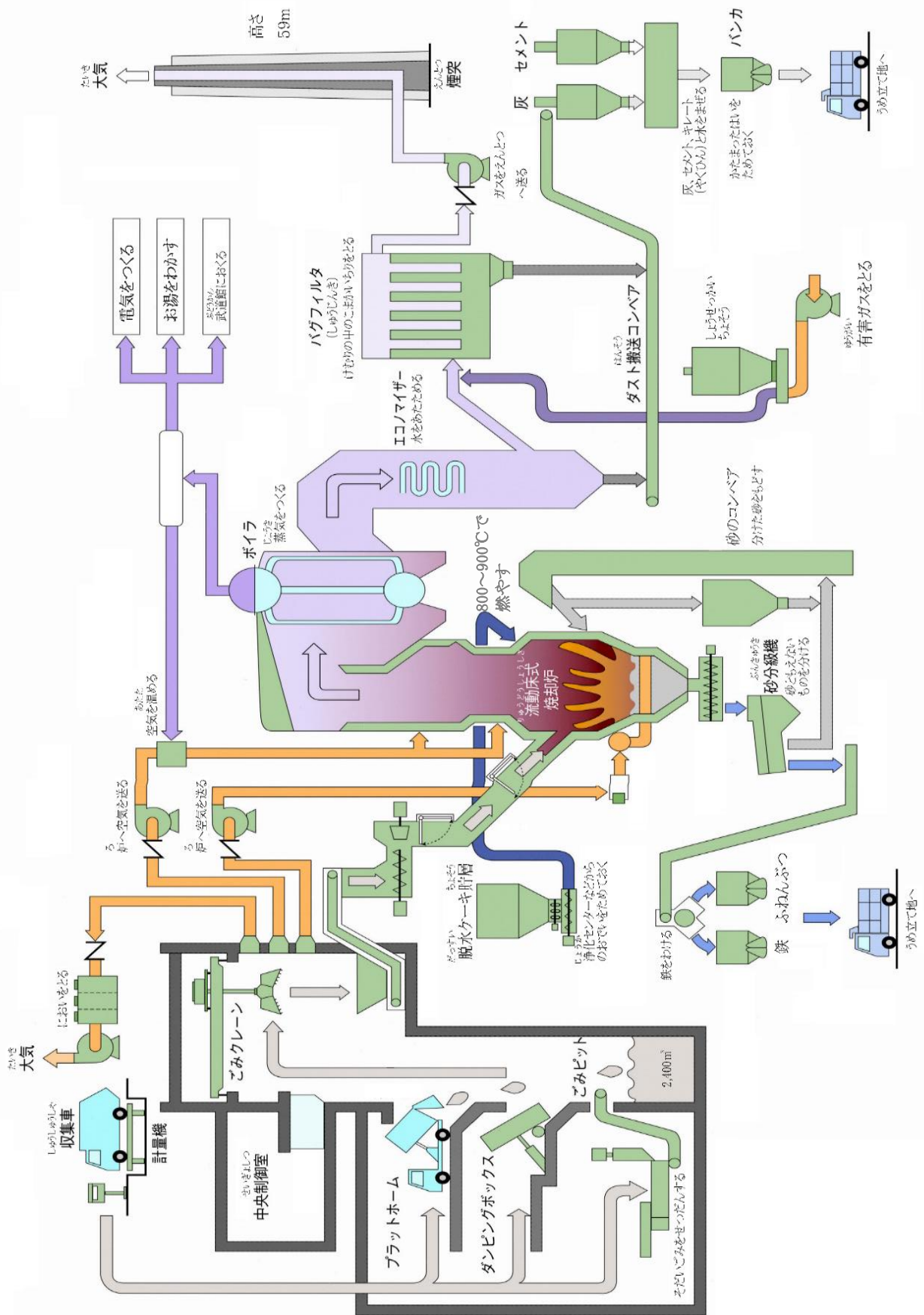
みずほし もとすし おおのちやう ごうどちやう わのうちやう あんぱちやう いびがわちやう  
大垣市・瑞穂市・本巢市・大野町・神戸町・輪之内町・安八町・揖斐川町・  
いけだちやう きたがたちやう  
池田町・北方町が利用する、ごみを燃やす施設です。

せいなんのう そだいはいきぶつしより  
西南濃粗大廃棄物処理センターは、

かいづし ようろちやう たるいちやう せきはらちやう ごうどちやう わのうちやう あんぱちやう  
大垣市・海津市・養老町・垂井町・関ヶ原町・神戸町・輪之内町・安八町  
が利用する、ごみを細かくくたく施設です。

どうして市や町が協力しているのか、考えてみよう。

# (5) クリーンセンターのしくみ



## よくあるしつもん

### しつもん1

クリーンセンターには、何人くらいの人  
がはたらいているの？

(こたえ)

約130人がはたらいています。ごみをもや  
す人、ごみを集める人、ごみを分ける人など  
がいます。

### しつもん2

クリーンセンターでは、どれくらいのごみ  
をもやしているの？

(こたえ)

1日に80t(収集車40台分)のごみを燃  
やすことのできる焼却炉(しょうきやくろ)  
が3つあり、<sup>へいきん</sup>平均160tのごみとおでいを燃  
やしています。

### しつもん3

どうして、こんなに大きなごみピットが必  
要なの？

(こたえ)

大垣まつりやお正月など、とてもたくさん  
のごみが出たときにもこまらないようにして  
います。

また、機械の<sup>しゅうり</sup>修理で焼却炉(しょうきやく  
ろ)が休むときにも、ごみがあふれないよう  
にしています。

### しつもん4

ごみピットにたくさんのごみがあるけど、  
くさくないの？

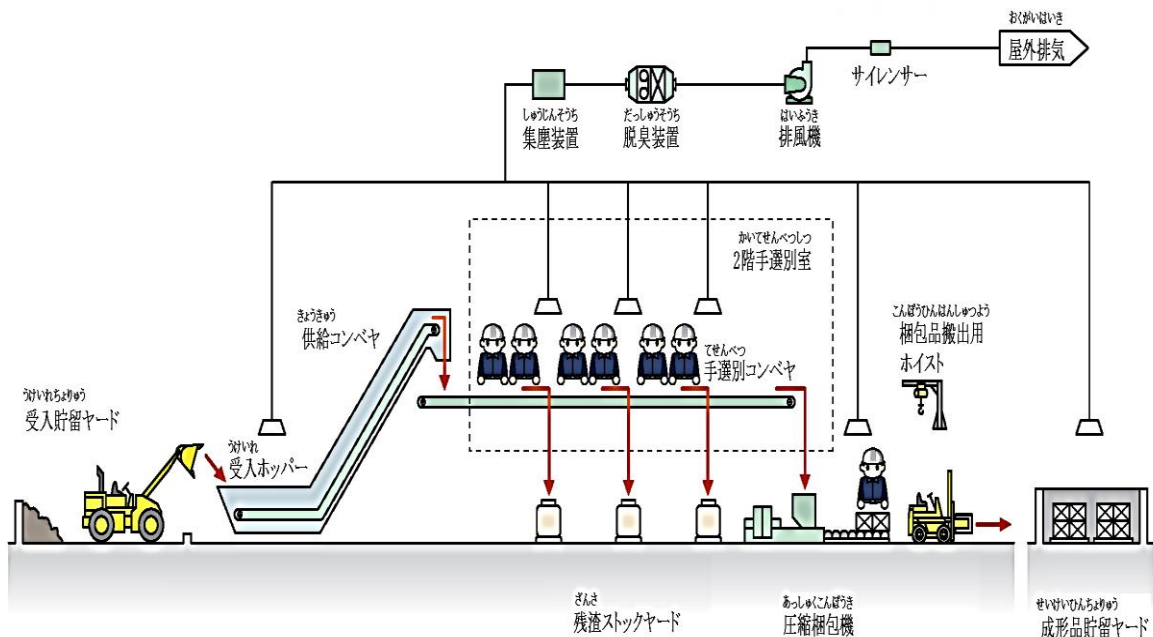
(こたえ)

ごみにおいては、すいこんで外に出さないよ  
うにしています。

## (6) リサイクルセンターのしくみ

リサイクルセンターは、プラスチックようきをリサイクルするために、平成24年に完成しました。

1日に約2t、1年間では約500tのプラスチックようきが集められ、選別、成型したあと資源化施設に送られます。



うけいれちよりゆう  
受入貯留



収集車で集めたプラスチックようきを、フォークリフトやベルトコンベアを使って、2階の手選別室へ送ります。

てせんべつ  
手選別



プラスチックようき以外のものや、よごれたものを取りのぞきます。

あっしゆく こんぼう  
圧縮・梱包



プラスチックようきを固めて、運びやすくし、しげんかしせつ資源化施設へ送ります。

## (7) もやした後に残るもの

クリーンセンターでゴミをもやすと灰が残ります。それも、できるだけ資源としてリサイクルしています。

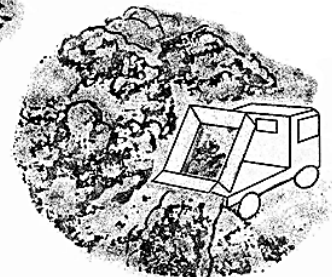
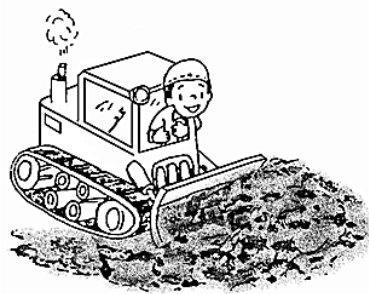
どうしても利用できない分は、<sup>さいしゅうしょぶんじょう</sup>最終処分場にうめています。

### ① <sup>さいしげんかしせつ</sup>再資源化施設

- 場 所 三重県、埼玉県、栃木県、福島県にある施設
- 資源化量 4,500 t (令和3年度)
- 利用方法 灰は最大1,800℃でとかすと石になり、道路を作る材料などになります。

### ② <sup>さいしゅうしょぶんじょう</sup>さいしゅうしょぶん場うめ立て地

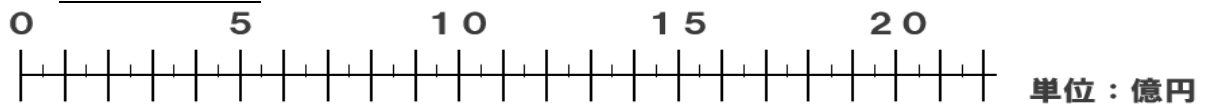
- 場 所 大垣市荒川町 897 番地
- 広 さ 20,600 m<sup>2</sup>
- 容 量 87,000 m<sup>3</sup>
- うめ立て量 250 m<sup>3</sup> (令和3年度)



### 3. ごみを処理するには、どれくらいお金がかかるのだろう

#### (1) ごみを処理するために使うお金

約 21 億円 (令和 3 年度分)



処理するためのお金  
約 10 億 5 千万円

集めるためのお金  
約 10 億 4 千万円

#### (2) 1 人分のごみ、1 軒分のごみを処理するお金

【1 人分のお金】



約 13,000 円

【1 軒分のお金】



約 30,500 円

クリーンセンター・リサイクルセンター聞きとりカード

調べた日	年 月 ( )
調べた人	年 組 名前
調べた施設	
グループの課題	
調べたこと・聞いたこと	
その他にわかったこと	
思ったこと・気づいたこと	



## 4. ごみをへらそう

今はむかしとちがい、ものを「くりかえし使う」よりも「使いす  
てる」ことが多くなりました。そのため、ごみがどんどんふえてし  
まいました。

これ以上、ごみをふやさないためにも、ごみがふえると、どんな  
問題が起きるか、話し合ってみましょう。

### 【ごみがふえると、どうなる？】

- 収集車や収集する人をふやさないと  
いけなくなる
- もやしたり、くだいたりすることが  
間に合わなくなる
- もやしたり、くだいたりするしせつが早くいたむ
- もやす時に出る<sup>にさんかたんそ</sup>二酸化炭素がふえ、地球おんだん化が進む
- うめ立て地がいっぱいになってしまう



### (1) ごみをへらすためにできること

#### ① まぜればごみ、分ければ資源

ごみとして出しているものの中には、まだ使えるものがあり  
ます。なにもかも、ごちゃまぜにしてしまえば、ごみとしても  
やすか、くだいてうめ立てるしかありません。

ごみと思っているものの中から資源になるものをより分け  
て、もういちど、利用するという気持ちが大切です。

#### ② 「ごみを出さない」「ごみにしない」

大垣市では、ごみをへらすさまざまな取組に、市民のみなさん  
にご協力をいただき、ごみの量は少しずつへってきました。

しかし、今よりもっとごみをへらすためには、「ごみをへらす」という考え方から「ごみを出さない」「ごみにしない」という考え方にすることが大切です。

## (2) ごみをへらすキーワードは「4R」

### ① Reduce (リデュース) = 「へらす」

日ごろから、「自分は、どんなごみを、どれくらい出しているか」気をつけてみましょう。

よぶんなものは買わない、最後まで使いきるなど、心がけていれば、ごみはへっていきます。

### ② Refuse (リフューズ) = 「ことわる」

タダでもサービスでも、いらないものはごみになります。いらなければ、「いりません」と言ってことわりましょう。

1回1回は小さなことでも、積み重なれば、大きな結果になります。

### ③ Reuse (リユース) = 「くりかえし使う」

「古いから」、「こわれたから」、「使わないから」…、などと言って、すててしまう前に、ちょっと考えてみましょう。

直せば使えたり、工夫して別の使い道を考えたりして、できるだけ長く使ってみてください。

①から③の3つの「R」は、みなさんが、ごみを出す前にできることです。

あなたは、どんなことに気をつけますか？

でも、どんなにごみをへらしても、まったくなくすことはできないかもしれません。

そこで、ごみとして出たものを、4つ目の「R」でごみを燃やす量と埋め立てる量をへらすことができます。

#### ④ Recycle (リサイクル) = 「再生(さいせい)する」

リサイクルとは、「もう一度、原料にもどして、新しく作る」という意味です。

リサイクルするためには、できるだけ不純物（ふじゅんぶつ）が、まざらないようにすることがとても大切です。

ごみをすてる時は、分別方法や出し方のルールを守って、リサイクルしやすいように出しましょう。

ただし、リサイクルするにも、お金がかかります。どうしても、ごみが出てしまうときに、ごみをへらす最後の方法と考えましょう。

そして、買い物をするときには、なるべくリサイクルせいひんを選んでください。



## 5. みんなのまちをきれいにしよう

### (1) ごみを出すときの約束



#### 【もえるごみの出し方】

- ① 週2回の決められた日に、決められたごみステーションに出しましょう。※ 朝8時30分までに（墨俣地域は8時までに）出してください。
  - ② とうめい、または、ほんとうめいのビニールぶくろに入れて出してください。
  - ③ ごみシール（可燃ごみ処理券）をはって出してください。
  - ④ 生ごみは、よく水を切って出してください。
- ※ 来年から指定のごみぶくろに入れる出し方に変わります。



#### 【もえないごみの出し方】

- ① 月1回の決められた日に、決められたごみステーションに出しましょう。※ 朝8時30分までに（墨俣地域は8時までに）出してください。
  - ② われたガラスなどは、とうめい、またはほんとうめいのビニールぶくろに入れ、飛びちらないようにして出してください。
  - ③ スプレー缶は、使い切って、風通しのよい屋外であなをあけて出してください。
- ※ 来年から指定のごみぶくろに入れる出し方に変わります。

#### 【ビン・カン・ペットボトルの出し方】

- ① 月1回の決められた日に、決められたごみステーションに出しましょう。※ 朝8時30分までに（墨俣地域は8時までに）出してください。
- ② 洗って出してください。
- ③ ビンは、色ごとに分けて出してください。
- ④ ペットボトルのふたは、ボトル・カップ・トレイ（パック類）の日に出してください。
- ⑤ ペットボトル回収ようき（ネット）のふたを、必ずしめてください。



## 【ボトル・カップ・トレイ（パック）類の出し方】

- ① 月2回の決められた日に、決められたごみステーションに出しましょう。※ 朝8時30分までに（墨俣地域は8時までに）出してください。
- ② プラスチック製品のうち、商品を入れたり、包んだりするものを出してください。※ 商品そのものではありません。
- ③ 汚れものは、洗って出してください。
- ④ ふくろやネット、チューブなどは、もえるごみに出してください。

## 【大型ごみの出し方】

（自分で運ぶとき）



クリーンセンターで出したいものを見てもらってから、西南濃粗大廃棄物処理センターへ運んでください。※ 有料です。

（クリーンセンターから取りに来てもらうとき／戸別有料収集）

- ① クリーンセンターへ電話かインターネットで予約してください。
  - ・名前や住所を聞きます。
  - ・出すものの種類や大きさ、重さなどを聞いて、料金をお伝えします。
  - ・何月何日に、どこに出せばいいかを、相談して決めます。
- ② スーパーやコンビニなどで、料金分の「大型ごみ処理券」を買ってください。
- ③ 決められた日の朝8時30分までに、「大型ごみ処理券」に名前を書き、出すものにはって、決めた場所に出してください。

## ※ リサイクル家電について

テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機は、リサイクル家電に指定されています。

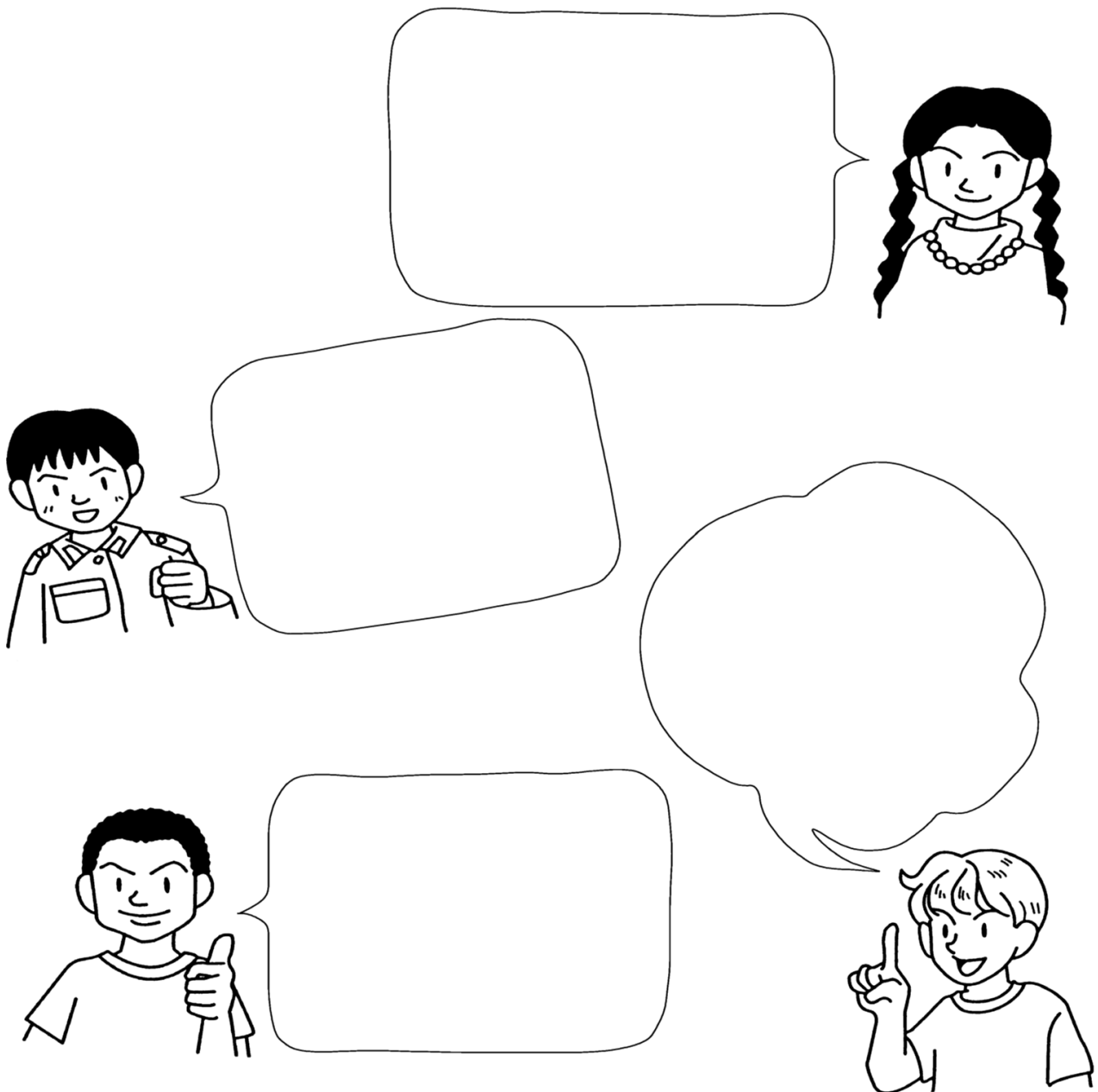
これらを出す時は、ゆうびん局で、「リサイクル券」を買い、出すものにはって出してください。

**(2) 大垣市を日本一美しいまちにするために**

ごみをへらして、わたしたちのまちを美しくたもつためには、大人から子どもまで、みんなで協力することが大切です。

「今、わたしたちにできること」をみんなで考え、どんなことが必要か話し合ってみましょう。

あなたは、家や学校、大垣市をごみの少ない、美しいまちにするために、どんなことをしようと思いますか？



(3) まとめ

これまで、ごみについて勉強してきて、あなたが思ったことや感じたことを書いてみましょう。

友だちや、お父さん、お母さんにも話してあげましょう。



---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

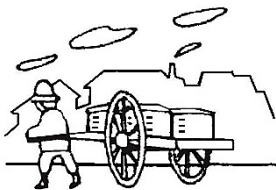

---

---

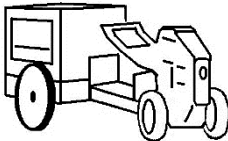
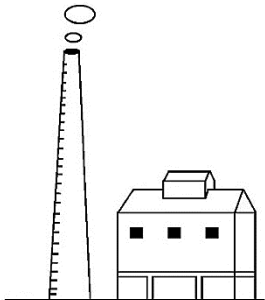
## 6. 大垣市のごみ処理のあゆみ

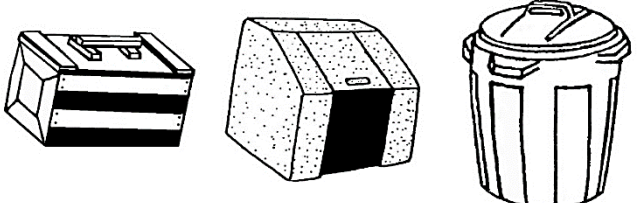
大垣市がせいそう事業を始めたのは、今から100年ほど前(大正7年)になります。

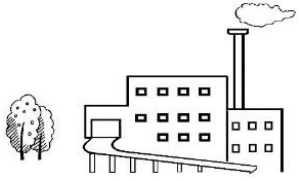

その当時は、5人の掃除監視人と大人車によるものでした。その後、大垣市のごみ処理のしかたが、どのように変わってきたのか、調べてみましょう。

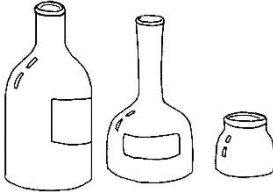
年 代	ごみ処理の移りかわり	おもなできごと
大正 7 (1918)	<p>市役所がごみ集めや処理を始めました。</p> <p>※ 一部の家の多い地域だけ集めていました。</p> 	<p>大垣市誕生</p> <p>戸数 5,463戸</p> <p>人口 32,225人</p>
しょうわ 昭和22 (1947)	<p>集めたごみは屋外で燃やしていました。</p>	<p>戸数 13,112戸</p> <p>人口 63,830人</p>
昭和 25 (1950)	<p>衛生的できれいな街にするために・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ箱を家庭に1個置くように指導しました。</li> <li>・ごみ収集用のトラックを買いました。</li> </ul> <p>※ このころのごみ集めは月3回、鈴を鳴らして知らせていました。</p>	
昭和 27 (1952)	<p>世安町にごみ焼却場が完成しました。</p> <p>※ 焼却炉6基、1日18tのごみを燃やせました。</p>	

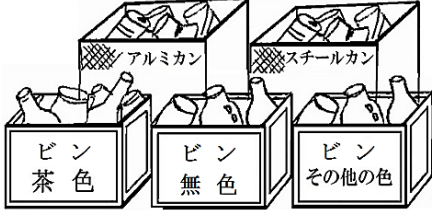



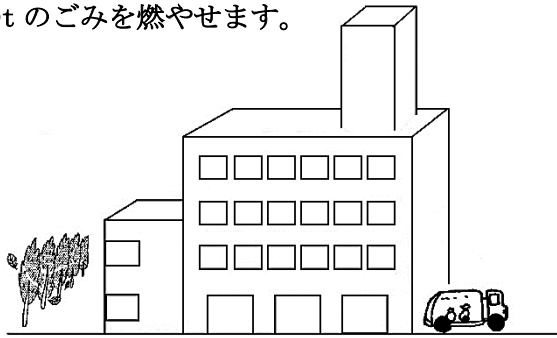
年 代	ごみ処理の移りかわり	おもなできごと
昭和 28 (1953)	トラック } オート三輪 } を使い、16 人でごみを集めました。 リヤカー } ごみ焼却場 <sup>しょうきやくじょう</sup> では6人がはたらいていました。	
昭和 30 (1955)		戸数 18,592 戸 人口 91,128 人
昭和 34 (1959)		伊勢湾台風 <sup>いせわんたいふう</sup>
昭和 35 (1960)	せまい通りでごみを集めるために、テイラー付きのごみ運搬車 <sup>うんぱんしゃ</sup> を使い始めました。 	
昭和 37 (1962)	新型 <sup>しんがた</sup> のパックマスター収集車 <sup>しゅうしゅうしゃ</sup> を買いました。 トラック 3 台 オート三輪 <sup>さんりん</sup> 3 台 テイラー運搬車 <sup>うんぱんしゃ</sup> 1 台 リヤカー 3 台 米野町 <sup>こめのちよう</sup> に焼却場 <sup>しょうきやくじょう</sup> が完成 <sup>かんせい</sup> しました。 ※ バッチ炉 <sup>る</sup> 4基、1日40tのごみを燃やせました。 一部の町でごみの定時 <sup>ていじ</sup> 収集を始めました。 ※ 今のステーション方式 <sup>のうりつ</sup> のもとで、ごみ収集の能率 <sup>のうりつ</sup> をよくするためのものでした。	

年 代	ごみ処理の移りかわり	おもなできごと
昭和 38 (1963)	<p>家庭のごみ箱が木箱からポリバケツにかわりました。</p> <p>※ 雨が入ってごみがぬれないようにするため、またハエが発生しないようにするためでした。</p> <p>ごみばこのミニミニ歴史</p> <p>昭和25年                      昭和30年ごろ                      昭和38年</p>  <p>りんご箱など の木箱を利用                      コンクリートの 共同ごみ箱                      フタつきポリバケツ</p>	
昭和 39 (1964)	<p>市内全部がステーション収集方式になりました。</p> <p>ごみの収集車にオルゴールをつけました。曲は「おサルのかごや」でした。</p>	<p>東京オリンピック 東海道新幹線や 名神高速道路が 開通しました。</p>
昭和 40 (1965)	<p>まちを美しくするための市民運動が始まりました。</p>	
昭和 43 (1968)	<p>川を美しくする運動が始まりました。</p>	<p>岐阜国体</p>
昭和 45 (1970)		<p>大阪万国博覧会</p>
昭和 46 (1971)	<p>大野町に焼却施設(西濃環境保全センター)が完成しました。</p> <p>※ 大垣市のほか19の町や村で共同の焼却場を作りました。8時間で30tのごみを燃やせました。</p>	
昭和 47 (1972)	<p>ごみの処理手数料をもらうようになりました。</p> <p>・一般廃棄物    100kg    50 円</p> <p>・産業廃棄物    100kg    150 円</p>	

年 代	ごみ処理の移りかわり	おもなできごと
昭和 48 (1973)	<p>ごみの<sup>ぶんべつしゅうじゅう</sup>分別収集を始めました。</p> <p>※ 「もえるごみ」と「もえないごみ」に分けて集めることにしました。</p> <p><sup>ようろうちやう</sup>養老町に<sup>せいなんのう</sup>西南濃粗大<sup>そ</sup>廃棄物<sup>だいはいきぶつ</sup>処理<sup>しよりに</sup>センターが<sup>かんせい</sup>完成しました。</p> <p>※ 大型ごみを<sup>しよりに</sup>処理するため、大垣市ほか 11 町で<sup>しよりに</sup>処理<sup>しせつ</sup>施設を作りました。1日 70t<sup>しよりに</sup>処理できました。</p> <p><sup>こめのせいそう</sup>米野清掃センターが完成しました。</p> <p>※ ふえ続けるごみを<sup>しよりに</sup>処理するため、大垣市の<sup>こめのちやう</sup>米野町に作られました。1日に 180t のごみを燃やせました。</p> <p>※ それまで、生ごみは、そのままうめられていましたが、<sup>はい</sup>燃やしたあと、灰にしてうめ立てるようになりました。</p>	<p>大垣市の木と花が決まりました。</p> <p>市の木:クスノキ 市の花:サツキ</p> 
昭和 49 (1974)	<p>大型ごみの<sup>しゅうじゅう</sup>収集を始めました（年 1 回）。</p> <p>18 台のもえるごみ収集車と 4 台のもえないごみ<sup>しゅうじゅうしや</sup>収集車を使い、1日に 100～110 t のごみを<sup>しよりに</sup>処理していました。</p> <p>※ もえるごみは、<sup>こめのせいそう</sup>米野清掃センター、<sup>せいなんのう</sup>西濃<sup>かんきやう</sup>環境保全センター、もえないごみを、<sup>せいなんのう</sup>西南濃粗大<sup>そ</sup>廃棄物<sup>だいはいきぶつ</sup>処理<sup>しよりに</sup>センターで<sup>しよりに</sup>処理していました。</p> <p>ごみの<sup>しよりに</sup>処理<sup>すうりやう</sup>手数料を改正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<sup>いっばんはいきぶつ</sup>一般廃棄物 100kg 100 円</li> <li>・<sup>さんぎやうはいきぶつ</sup>産業廃棄物 100kg 200 円</li> </ul>	

年 代	ごみ処理の移りかわり	おもなできごと
昭和 50 (1975)	<p>大型ごみの収集を年2回にしました。 あきビンの収集を始めました。 ※ リサイクルの始まり。</p> 	<p>戸数 36,455 戸 人口 140,425 人</p>
昭和 51 (1976)	<p>ごみの処理手数料を改正しました。 ・一般廃棄物 家庭のごみ 100kg 100 円 会社のごみ 100kg 200 円 ・産業廃棄物 100kg 300 円</p>	<p>9.12豪雨(大雨で大きな被害がでました。)</p>
昭和 57 (1982)	<p>大垣市リサイクリング運動運営委員会ができました。</p>	
昭和 60 (1985)		<p>戸田公入 城 350年祭</p>
昭和 63 (1988)		<p>ぎふ中部未来博</p>
平成 元年 (1989)	<p>資源分別回収事業奨励金制度を始めました。 ※ 資源回収をしている団体に奨励金を出すことにしました。</p>	
平成 2 (1990)	<p>あきビン回収ポストが市内に置かれました。 市役所にごみ問題対策本部推進本部を作りました。 ※ このころ、ごみがふえて問題になっていました。</p>	
平成 3 (1991)	<p>ごみ問題市民懇話会が作られました。 ※ ふえるごみをどうしたらよいか考えるため、市民の代表が何度も話し合い、その結果を、市長に提案しました。</p>	
平成 4 (1992)	<p>荒川町に最終処分場ができました。 リサイクルフェアを始めました。</p>	

年 代	ごみ処理の移りかわり	おもなできごと
平成 5 (1993)	<p>ごみの処理手数料を改正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物 家庭のごみ 100kg 100 円</li> <li>会社のごみ 100kg 400 円</li> <li>・産業廃棄物 100kg 600 円</li> </ul> <p>廃棄物減量等推進委員会をお願いすることになりました。</p> <p>※ ごみを減らすため、町内で委員の人をえらんでもらうことにしました。</p> <p>資源ごみの収集を始め、5種分別収集としました。</p> <p>※ ごみを5種類に分けて出すようにしました。</p> <p>①もえるごみ ②もえないごみ ③ビン ④カン ⑤大型ごみ</p> 	
平成 6 (1994)	<p>もえるごみを出すときに透明か半透明のごみ袋を使うようにしました。</p> <p>※ 中が見える、よこ70cm・たて80cm、45ℓまでのごみ袋を使うようにしました。</p> <p>西南濃粗大廃棄物処理センターで、冷蔵庫やクーラーのフロンガス、蛍光灯などの水銀の回収を始めました。</p> <p>ごみ処理のシール制を始めました。</p> <p>※ もえるごみにシールを貼って出すようにしました。</p> <p>きれいな絵の収集車になりました。</p> <p>※ みなさんから募集した、絵や標語を描いた収集車が走るようになりました。</p> 	

年 代	ごみ処理の移りかわり	おもなできごと
平成 7 (1995)	<p>阪神淡路大震災のため西宮市へごみ処理のお手伝いに行きました。</p> <p>ごみステーションに乾電池入れをくぱり始めました。</p> <p>給食の残りなどを利用し、「たいひ」を作り始めました。</p> <p>※ 作った「たいひ」は、学校の花だんなどに使われています。</p>	阪神淡路大震災
平成 8 (1996)	<p>大垣市クリーンセンターが完成しました。</p> <p>※ 1日 240t のごみを燃やせます。</p> 	
平成 10 (1998)	<p>ごみの処理手数料を改正しました。</p> <p>・一般廃棄物 家庭のごみ 100kg 100 円 会社のごみ 100kg 600 円</p> <p>・産業廃棄物 100kg 900 円</p> <p>養老町に新しい西南濃粗大廃棄物処理センターが完成しました。※ 1日 (5時間) で 70t処理できます。</p> <p>ペットボトルの分別収集を始めました。</p>	
平成 12 (2000)		おおがきはく 大垣博
平成 13 (2001)	<p>家電リサイクル法が定められました。</p> <p>大型ごみの戸別有料収集を始めました。</p> <p>※ 出す人が予約をしてとりにきてもらう方法です。</p>	
平成 14 (2002)	<p>大垣市リサイクルプラザ「クルクルワールド」を開設しました。</p> <p>※ 大型ごみで集められた家具の中からリユースできそうなものを修理・清掃して展示・販売しています。</p>	

年 代	ごみ処理の移りかわり	おもなできごと
平成 15 (2003)	もえるごみのハッピーマンデー祝日収集を始めました。 ※ 海の日、敬老の日、体育の日、成人の日も収集するよう にしました。	
平成 16 (2004)	給食センターのてんぷら油を収集車の燃料として使 い始めました。	
平成 17 (2005)		愛知万博 (愛・地球博)
平成 18 (2006)	大垣市、墨俣町、上石津町が合併し、新しい大垣市が誕生 しました。 ごみの処理手数料を改正しました。 ・一般廃棄物 家庭のごみ 100kg 900 円 会社のごみ 100kg 900 円 ・産業廃棄物 100kg 1,300 円	
平成 20 (2008)	市内の大型スーパーなどで、レジ袋の有料化が始まりまし た。	
平成 21 (2009)	ごみを燃やしたときに出る熱を利用して作った電気を売る ようになりました。	
平成 23 (2011)	ごみの処理手数料を改正しました。 ・一般廃棄物 家庭のごみ 10kg 100 円 会社のごみ 10kg 100 円 ・産業廃棄物 10kg 150 円  リサイクルセンターの建設を始めました。	ひがしにほんだいしんさい 東日本大震災
平成 24 (2012)	リサイクルセンターが稼動しました。 プラスチック製容器包装の収集を始めました。	

年 代	ごみ処理の移りかわり	おもなできごと
平成 29 (2017)	クリーンセンターの主な設備を新しくしました。 ※ 焼却設備の更新とごみを燃やすときにでる二酸化炭素をへらすための工事を行いました。(平成 26 年度から 4 年かけて工事)	御嶽山噴火
平成 30 (2018)	大垣市ごみ分別アプリを始めました。	大垣市制 100 周年
令和元年 (2019)	大型ごみ処理手数料 (大型ごみシール金額)、改正	消費税率変更 (8% ➡ 10%)
令和 2 年 (2020)	リサイクルプラザ「クルクルワールド」が閉館しました。 新型コロナウイルス感染症対策として自粛期間中のごみがふえました。	新型コロナウイルス感染症拡大 緊急事態宣言
令和 3 年 (2021)	廃棄物減量等推進委員制度をやめました。	レジ袋有料化
令和 4 年 (2022)	大型ごみのインターネット予約が始まりました。	



令和 4 年度 ごみってなんだろう  
令和 4 年

編集・発行 大垣市生活環境部クリーンセンター

大垣市クリーンセンター  
503-0847 大垣市米野町 3 丁目 1 番地 1  
電 話 0584-89-4124  
ファクス 0584-89-6090

わければ資源

まぜればごみ



小学校

年

組

なまえ

